

## 福岡県地質調査業協会「第47回定時総会」開く 業界の認知向上と担い手育成を推進



役員の一部改選や8年度事業計画などを決めた「第47回定時総会」

(一社)福岡県地質調査協会(香月裕宣理事長)の「令和8年度第47回定時総会」は8日、福岡市のオリエンタルホテル福岡で開催された。総会には会員32人(委任状8人)が出席し、令和7年度の事業報告や決算及び監査報告を審議・承認したほか、令和8年度事業計画の重点事項として①技術力の向上、②業界の地位向上、③担い手の確保と育成、④事業量の確保などを柱とした事業計画が承認された。役員改選では、新理事に2名を選出。総会後は和やかに懇親会が開かれた。

総会の挨拶で香月理事長(株)ジオテック技術士事務所)は「我々地質調査業は、地域の守り手として、インフラ整備や構造物の維持管理、さらには近年激甚化する自然災害への対応において、地質データが全ての基盤となっており、こうした社会的使命を果たしながら、持続可能な組織として協会活動を推進し、業界の情報発信や担い手確保に取り組み、



挨拶の香月理事長

魅力ある業界づくりを目指してまいります」と挨拶した。

このあとの議事進行は香月理事長を議長に選出し、①令和7年度の事業報告、②令和7年度決算及び監査報告、③定款及び規則変更、④役員を選任(案)を審議承認した後、令和8年度の事業計画・予算の報告が行われた。新年度事業計画では、▽人材育成・啓発指導事業(基礎技術習得や専門技術の維持向上講習会、人材育成と企業資質向上を図る)▽提言事業(法制及び施策の調査研究を行い、環境問

題等に繋がる提言)▽調査研究成果普及事業(官公庁や市民との地盤特性等の情報共有化)などを推進する。役員変更では新理事として江本満氏(応用地質㈱九州支店支社長)、高山淳一氏(大日本ダイヤコンサルタント㈱九州支社長)が選任された。

総会後の懇親会では三原隆一氏(応用地質㈱九州事務所長)が乾杯し、親睦を深めながら意見交換が行われた。